

第6回

2017年8月21日
東京海洋大学 品川キャンパス 楽水会館

【講演】「EQが必要とされる時代」

株式会社EQ 取締役会長・EQエグゼクティブマスター 高山 直氏

【講演】「マインドフルネスとEQ」

筑波大学 人間系 教授 相川 充氏

【事例報告①】大学における正課活用のねらいと効果に関する報告

静岡大学 准教授 生源寺 類氏



【事例報告②】2年生の必須授業におけるSEQの活用について

徳島大学 特任講師 嶋 一樹氏

【事例報告③】海外インターンシップの前後における活用事例の報告

(大学生協)

過去のフォーラムにご参加いただいたみなさまからのご感想

- EQの内容をわかりやすく講演の中で説明していただき、理解が深まりました。継続的な使用が有効である事もよくわかりました。(総合大学・教員)
- タフな人間になってもらいたいと常日頃思っている。自己理解から変化のきっかけを考えるツールに最適だと思った。(医療系大学職員)
- IQよりEQ(本学の学生は決してIQが高いほうではない。しかし、自信をもって社会に送り出したい)〈文科系大学・職員〉
- EQの基本的考え方がわかった。SEQがポートフォリオの振り返りのひとつのツール(エビデンス)にも使えそう。(文科系大学・教員)
- EQの導入が、離職率の低下に貢献している事例など、貴重なご報告ありがとうございました。(総合大学・教員)
- 大学様の事例報告は、キャリア支援を行う立場でとても同調するし、参考になりました。(総合大学・職員)
- EQは鍛えることができ、それが学生の総合的な能力向上につながる。(医療系大学・職員)
- 思っていたよりEQが企業の人材開発等に取り入れられていること。(文科系大学・教員)
- 当たり前のことが当たり前になる。次の人のことを考える。挨拶とお礼が出来る。大切なことだと思った。(理工系大学・教員)
- 3例の事例報告を通してSEQに興味を持ちました。大学に戻り、検討したいと考えます。(医療系大学・職員)
- 高山さんのお話はおもしろく、楽しく聴かせていただきました。(理工系大学・職員)
- 名工大の話がとてもよかった。特に、今更ですが「意識させること」なるほどと思っ



た。(医療系大学・職員)

- 新卒採用における採用基準でもある「一緒に働きたいか」≒「可愛がられる」と感じました。(理工系大学・職員)
- EQについては断片的に聞きかじったことはあったが、まとまった説明を聞くのは初めてだった。感情ということでもう少し難しい物だと思っていたが、人間の根本に関わるシンプルなものだということがわかった気がする。(女子大・教員)
- 実ははじめ懐疑的だったのですが、学生に有効であり、また専門科目との組み合わせで活用できそうだと感じました。(総合大学・教員)



ACCESS

場所 京都教育大学
藤森学舎 D棟 D3教室(予定)
所在地 〒612-8522
京都市伏見区深草藤森町1

交通アクセス

- JR京都駅よりJR奈良線(普通9分)
JR藤森駅下車 徒歩約3分
- 京阪京橋駅より京阪本線(準急1時間3分)
墨染駅下車 徒歩約7分



企画詳細・お申込は <http://seq.univcoop.or.jp> 8/31 締切

EQ スチューデントEQ
大学生協学生EQセンター

〒532-0011 大阪市淀川区西中島3丁目23番15号
セントアーバンビル 501号
E-mail: seq@univcoop.or.jp

第7回

大学における EQ活用 研究フォーラム

EQ～こころの知能指数～は、大学生の学びと成長をどう支援できるのか？

自律的に動ける
学生を育てたい

コミュニケーション力やメンタルタフネスを
日常の大学生活の中で鍛えたい

初年次教育や、継続したキャリア教育の
成果をはかる指標として使えるものはないか

なぜEQをはかることで学生の
モチベーションは上がり、行動をおこすのか？

このフォーラムでは最新のEQの活用状況についてお知らせし、EQを活用することで、一人ひとりの学生がいきいきとした学生生活をすごしながら社会人にとって必要な力を育むために、何ができるかを考えたいと考えています。キャリア教育や初年次教育をはじめ、教育実践を通じた学生の育成に関わる幅広い関係諸賢の皆様方のご参加をお待ちしています。



日時 2018年9月12日(水) 14:00~18:00

場所 京都教育大学 藤森学舎 D棟 D3教室(予定)

参加対象 大学・短期大学・高等専門学校の教員・職員・関係者の方
キャリア教育・初年次教育・PBL・インターンシップ・実習など、
大学生の学びと成長の支援に関わるみなさま・大学生協の役職員

参加費 無料(懇親会は有料です)

EQ スチューデントEQ
大学生協学生EQセンター

主催：全国大学生協同組合連合会
学びと成長事業協議会



第7回「大学におけるEQ活用研究フォーラム」プログラム

【日時】 2018年9月12日(水) 14:00~18:00
 【場所】 京都教育大学 藤森学舎 D棟D3教室(予定)

参加費
無料

14:00~14:10

開会・ご挨拶

14:10~15:15

講演 「本当のかしこさとは何か：大学におけるEQ教育の実践例を中心として」



京都女子大学 発達教育学部 教育学科 心理学専攻 教授 **箱田 裕司 氏**

1977年 九州大学文学研究科博士課程修了。文学博士。千葉大学教養部准教授、九州大学文学部教授、九州大学人間環境学研究院教授、研究院長・学府長などを経て、2014年より現職。日本認知心理学会理事長、学術会議会員(2017年まで)。主な著書「新・知性と感性の心理学 福村書店」共編著、「認知心理学 有斐閣」共編著、「認知の個人差 北大路書房」共編著、「嘘とだましの心理学 有斐閣」共編著、「認知科学のフロンティア サイエンス社」共編著など。



徳山大学 福祉情報学部 人間コミュニケーション学科 准教授 **小松 佐穂子 氏**

2009年九州大学大学院博士後期課程修了。博士(心理学)。九州大学学術研究員、国立精神・神経医療研究センター流動研究員、徳山大学講師を経て2016年より現職。主な著書「表情認知と人物認知間の非対称的干渉」共著(認知心理学研究第6巻)、「第5章 感情知性(EI)は訓練次第で変化するか」共著(『本当のかしこさとは何か—感情知性(EI)を育む心理学』誠信書房)など。

15:30~17:55

事例報告1：EQに基づく学生の成長支援の枠組み ～大学院特別教育プログラムを事例として～(仮題)

海洋研究開発機構 調査役 **島村 道代 氏**
 北海道大学高等教育推進機構 特任助教 **今井 匠太郎 氏**
 大学生協東京事業連合 **寺澤 一彦 氏**

事例報告2：共通言語としてのSEQ ～SEQを基軸とした『出発サポートプログラム』と、学生の成長

大阪府立大学生協職員 **宮下 直人 氏**
 大阪府立大学学生 「出発サポートプログラム」学生サポーター

事例報告3：企業におけるEQの活用

17:55~18:00

SEQのご紹介

18:15~19:30

夕食懇親会 (有料です)

◆プログラムはやむをえず変更になる場合があります。

評価用の受診IDを
ご提供します

導入にあたっての評価用として、スチューデントEQの受診IDを無償で3名様分ご提供いたします。通常の受診と同様のマテリアル一式をお送りしますので導入に先立って身近な学生の方に試験的に受診いただくなどご活用下さい。

過去の「大学におけるEQ活用研究フォーラム」から

第1回

2012年8月9日
 龍谷大学 大宮キャンパス 清和館

【講演】なぜEQを鍛えた学生は社会で活躍できるのか
 EQ Global Alliance 代表 **高山 直 氏**

【事例報告①】若手社会人の現状とEQ
 株式会社日立システムズ 人財教育本部 **三森 朋宏 氏**

【事例報告②】初年次教育におけるEQの活用
 信州大学 学生支援課 課長 **金子 功 氏**



第2回

2013年8月5日
 東京大学 駒場キャンパス 1号館

【講演】可愛がられる「EQ・新社会人」
 EQ Global Alliance エグゼクティブマスター **高山 直 氏**

【事例報告①】グローバル企業におけるEQの活用
 EQ Global Alliance

【事例報告②】教育大学の集中講義におけるEQの活用
 北海道教育大学 教授 **玉井 康之 氏**

【事例報告③】工業大学のキャリア形成におけるEQの活用
 名古屋工業大学 教授・キャリアサポートオフィス長 **山下 啓司 氏**



第3回

2014年8月4日 関西学院大学
 西宮上ヶ原キャンパス 関西学院会館

【講演】EQで育てる「人に強い」大学生
 EQ Global Alliance エグゼクティブマスター **高山 直 氏**

【事例報告①】松山東雲女子大学正課授業におけるEQの活用
 松山東雲女子大学 人文科学部 心理子ども学科 教授 キャリア支援部 **西村 浩子 氏**

【事例報告②】初年次教育におけるEQの活用
 九州工業大学 工学研究院 基礎科学研究系 教授 **中尾 基 氏**



第4回

2015年8月3日
 早稲田大学 国際会議場

【講演】EQで育てる「人に強い」大学生
 EQ Global Alliance エグゼクティブマスター **高山 直 氏**

【パネルディスカッション】「EQで広げる大学生の学びと成長の可能性」
 北海道教育大学 教授 副学長 **玉井 康之 氏**

九州工業大学 工学研究院 教授 学長特別補佐・PBL教育推進室長 **中尾 基 氏**

信州大学 キャリアサポートセンター・学生支援課 課長 **金子 功 氏**
 EQ Global Alliance エグゼクティブマスター **高山 直 氏**



来日記念特別フォーラム

(経済産業省・文部科学省後援)
 2016年5月13日 京都大学
 吉田キャンパス 百周年時計台記念会館

【講演】「EQ理論の25年と新たな展開」
 University of New Hampshire 教授 **Dr. John D. Mayer**

【講演】「グローバル企業におけるEQの活用」
 Yale university 学長特別補佐 **Dr. David Caruso**

【講演】「EQ 感じる力の磨き方」
 株式会社EQ 取締役会長 **高山 直 氏**



EQ理論の提唱者John. D. Mayer博士(ニューハンプシャー大学教授)、世界と日本のビジネス界におけるEQ普及の第一人者である、David Caruso博士(イェール大学学長特別補佐)、及び高山直氏((株)EQ)をお招きし、経済産業省・文部科学省の後援を頂いて開催しました。

大学での教育や学生支援、企業や諸団体での活用等でのいっそうの普及・浸透をはかるために、EQ理論提唱以来の25年間の理論の深まりと、その広がりを多くの方に紹介し、44大学・213名の参加となりました。

実践場面での悩みを考えたり、講師同士の討論が起きるなどディスカッションも興味深いものであり、全体として参加者からは高い満足度を得られたものとなりました。



◆ご講演者・ご報告者の所属・役職名等は当時のままです。